

2016年9月14日

## 生体試料の温度履歴情報統合管理システム “CryoLibrary iMaster®”

### 販売開始のお知らせ

大陽日酸株式会社（社長 兼 CEO：市原裕史郎）は、幹細胞評価基盤技術研究組合の委託事業プロジェクトにおいて、生体試料の温度履歴情報統合管理システムを開発したことを昨年10月にお知らせしておりましたが、新製品として販売を開始しましたので、お知らせいたします。

開発の経緯につきましては、2015年10月13日付当社ニュースリリースをご参照ください。

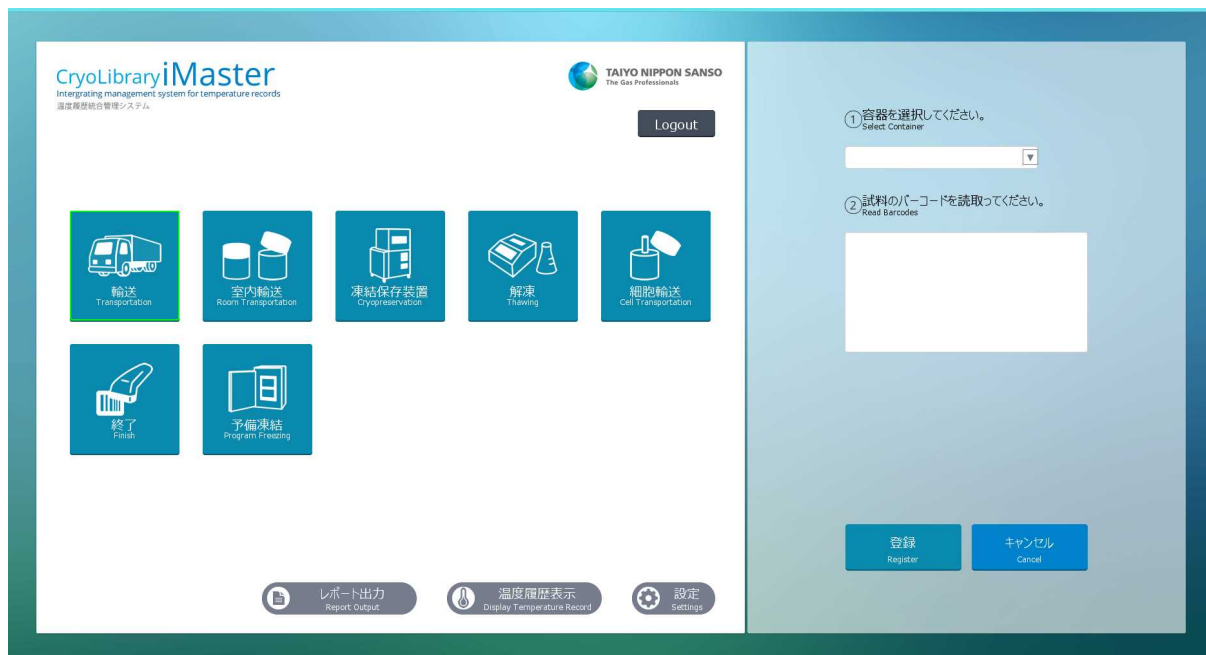
### 記

#### 1. CryoLibrary iMaster®（クライオライブラリー アイマスター）について

“CryoLibrary iMaster®（iMaster：integrating management system for temperature records）”では、培養増殖後の分注から凍結解凍までの、複数に及ぶ行程の個々の温度データをサーバーに集中して一括管理します。

これにより、拠点間の輸送時のみならず、凍結処理の環境や解凍処理の環境、施設内の移動環境も記録管理することができます。本システムは、バーコードなどのデータキャリアと専用のPCソフトを用いて情報ネットワーク環境下で運用します。

#### 2. システムメイン画面



アイコンを追加することで、試料が辿る工程を自由にカスタマイズできます。

### 3. システムフロー

